会議名	第1回学校運営協議会 議事録				
場所	大阪府立すながわ高等支援学校4階 校長室				
日時	令和6年7月10日(水) 10:00~12:00				
目的	学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及				
	承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。				
次第	(1) 校長あいさつ				
	(2) 学校運営協議会委員紹介				
	事務局職員紹介				
	大阪府立すながわ高等支援学校 運営協議会 実施要項確認				
	会長、副会長選出				
	(3) 協議				
	• 令和6年度学校経営計画について				
	・8期生の進路状況等の取り組み(進路だより)				
	・今年度の広報活動の取り組み				
	• 校内研修の取組み				
	(4) 報告				
	・教科書選定について				
	(5) 意見交換 まとめ				
	(6) 校長挨拶				

学校運営協議会	会 長	四天王寺大学教育学部教育学科教授	土口 =	千恵子 様
	副会長	株式会社カネシン オートバックス	辻	昭宏 様
	委 員	泉州中障害者就業・生活支援センター	斉喜	祐輔 様
	委 員	株式会社サクセス 自立支援推進室長	河本	妙子 様
	委 員	泉南市 行政経営部 危機管理課	小原	成裕 様
	委 員	すながわ高等支援学校PTA会長	内畑谷	みか 様
	校 長	すながわ高等支援学校長	力口糸内	由朗
	すながれ	O高等支援学校事務局		9名

要約 令和6年度学校経営計画の計画状況について確認されたこと及び協議テーマについて、各立場から実りのある意見交換がなされた。

協議テーマについてのご質問・ご意見

- ○令和6年度学校経営計画の説明では、今年度の重点目標についての確認と具体的な取り組み内容について共有することができた。高等支援学校教員としての専門性の確立をめざすための具体的な取り組みとして、①共生推進教室設置校の教員との連携を深めること、②生徒の障がい特性の理解を深めるために自立活動の時間をさらに充実させること、③特別支援学校教諭免許状保有率の向上が挙げられた。安心・安全に過ごせる学校づくりに関しては、①緊急時に備え、安全確保のための物品、備蓄食調達の環境整備に努めること、②教員誰もが参加・発言できる場である将来構想会議を活用し、新しいことにチャレンジしていくこと、③卒業後の職場定着支援体制を強化していくこと、④教員の働き方改革を進めるため、「一斉退庁日」についての理解を深め、実行していくことが確認された。地域との連携については、高等支援学校の取り組みや卒業生の活躍などを積極的に外部へ情報発信することが泉北・泉南地域における知的障がいのある生徒の就労支援の拠点校としての責務であることが共有された。
- ○進路状況等の取り組みについては、進路だよりをもとに3月に卒業した8期生の進路状況 の内訳について説明があった。企業就労者数は過去最高を記録しているが、正社員数が少ないことについての質問があった。正社員は求められるスキルが高くなること、転勤や将来的に指導者の立場になることが求められるなど、入社後の負担が大きい。職場での定着を考えると、できることを少しずつ増やし、ステップアップして正社員になっていくケースが多い。順調に活躍している卒業生が多いことが紹介された。
- ○広報活動の取り組みについては、昨年度に2年連続で本校選抜の出願者数が定員割れしたことを重く受け止め、実施時期、内容、方法について見直しを行った。コロナ禍以前の活動内容に戻し、中学部・中学校教員向け研修を5月に前倒しで実施、夏休みに全教員で中学校訪問を実施した結果、今年度は定員数を超える志願者が集まった。今年度も引き続き積極的に中学校訪問を行うこと、生徒から募集したマスコットキャラクターを活用した学校PRを計画していることなどが報告された。
- 〇今年度の教員向け校内研修の計画について報告がされた。7月には全教員を対象に、学校運営協議会副会長の辻様を講師にお迎えし、「LGBTQ」についての人権研修を予定している。 12月には、大阪府立障がい者交流促進センターファインプラザ大阪様にご協力いただき、「障がい者スポーツ体験」の研修を予定しているなど、教員としての専門性が高められる研修内容を検討し、実施していく予定であることが報告された。
 - 〇令和6年度教科書選定については、実際に使用している教科書を確認していただいた。
 - 〇保護者の意見書については提出がなかった。

次回開催日 令和6年11月予定

作成者 大阪府立すながわ高等支援学校 首席 松浦 恵 (令和6年7月11日作成)